

| 教育目標 | 重点目標 | 自己評価 | | |
|--|--|---|--|---|
| | | 評価項目 | 評価 | |
| 心身ともに健やかで調和のとれた人間形成の基礎を養う ○明るく元気な子ども ○友達と仲良くできる子ども ○最後までがんばる子ども | I 子どもを中心に据え、全職員が共通理解のもと協力して教育を進める | ① 子どもは、幼稚園生活を楽しんでいる。 ② 子どもは、身の回りの始末や手洗い・うがいなどの基本的な生活習慣が身に付いてきている。 ③ 子どもは、戸外遊びや体を動かして遊ぶことを喜び健康な体ができきている。 ④ 子どもの姿や活動について情報交換をしたり、相談し合ったりするなど共通理解をし、全職員の協力のもと教育活動を行っている。 | (保護者アンケートより)別紙参照 ①に関して、子どもが生き生きと活動し園生活を楽しんでこそ、幼稚園教育を充実させることができるため、全員が「そう思う」としたことには大きな意義があると考える。 ②に関して、昨年度は「あまりそう思わない」人がいたが、全員が「そう思う」となっており、家庭でも身の回りのことは自分ですらしたり、進んでしたりするようになっている。 | (教職員自己評価より)別紙参照 ②に関して、昨年度は保護者の評価が低かったが、一人一人に応じた繰り返しの援助や家庭の協力により、個人差はあるものの、それぞれの成長を実感している。 ③に関して、毎日園庭で遊ぶ時間を設け、様々な活動に取り組んだ。暑さや寒さに負けず、1年を通して戸外で活動することができた。 ④に関して、情報交換や共通理解などをし、全職員で子どもを見守り育てていくよう努めてきたが、職員数減により十分な協力体制がとりにくかった。 |
| | II 人とのつながりの中で、子どもが互いのよさに気づき、大切にしようとする心を育む。 | ④ 子どもは、先生や友達の話をよく聞こうとしている ⑤ 子どもは、自分の思っていることを、言葉や態度で先生や友達に伝えようとしている。 ⑥ 教職員は、子どものことを理解し、一人一人を大切に保育をしている。 ⑦ 研究テーマである「一人一人の個性を大切に、豊かな育ちを支える保育をめざして」の観点から子どもの育ちを丁寧にとらえ、環境を構成したり見直しをしたりしている。 | ④⑥に関しては、例年低めの評価となっている。話すことに配慮が必要な子どももあり、昨年度より成長している実感はあるが、特に伝えることに関しては心配しているようである。 ⑦に関して、小規模園のよさを生かし、子ども一人一人に応じて関わったり丁寧に指導したりと、大切に取り組んできたことが評価されたと考える。幼稚園への信頼もつながることであるため、全員が「そう思う」としたことには大きな意義があると考える。 | ④に関して、保護者以上に評価が低い。人の話を聞くことはコミュニケーションの重要な部分であり、生きる力の基礎となるため、しっかりと育てていきたい。 ⑤に関して、心理的な配慮や語彙力の向上、発音の練習など、個別に取り組むべき課題も多く、関係機関と連携を取りながら進めてきた。 ⑥⑦に関して、事例研究を行い、市幼稚園教育研究協議会の研究資料をまとめた。相手やまわりを意識した言動が増えたり、互いの個性を受け入れ協力しながら生活する姿が見られたりし、心が育ってきていると感じる。 |
| | III 小・中学校や地域との連携を深め多様な体験を通して人と関わる力を育んでいく。 | ⑧ 幼稚園は、地域の人材や自然環境などを活用し、子どもに豊かな体験活動ができるよう努めている。 ⑨ 幼稚園は、子どもの成長・発達にとって意味のある行事や教育活動の工夫・精選をしている。 ⑩ 幼稚園は、小・中学校や地域の方々との交流を通して、連携した教育活動を行っている。 ⑪ 幼・小の連携で子どもの育ちを支えていくために、その場や機会を生かしている。 | ⑧に関して、入田地域の自然や人との関わる行事や体験を喜ぶ声が多くある。 ⑩に関しては、入田幼稚園ならではの小・中学生との交流や、地域の方との行き来の多さや内容を評価する声が多くあり、重点を置いて取り組んでいることが伝わっていると考え。未就園児園開放による関わりについても言及があり、今年度は年少児がいなかったため、よい経験となったようである。 | ⑧に関して、地域の方と触れ合いながら、自然の中で遊んだり野菜の収穫をさせてもらったりして、子どもたちも地域の一員であることや地域の方々を支えられていることを実感できた。 ⑩⑪に関して、小・中学校との交流や行事、地域での園外保育など、多くの人と関わり様々な経験をすることができた。特に小学1年生との交流回数も多く、憧れをもったり次年度へのイメージを広げたりするよい機会となった。日常的に、教員同士の情報交換や活動の振り返りなどができたことも有意義だった。 |
| | IV 子どもはもとより、保護者や地域からも信頼される教師としての指導力の向上を目指し自己研修を進める | ⑦ 教職員は、保護者からの連絡や相談に適切に応じている。 ⑩ 幼稚園は、保護者にとって、園生活の様子を知ったり保護者同士の交流を深めたりする場としても有意義なものになるよう、保育参観や園行事を工夫している ⑪ 園内外の研修に積極的に参加するなど資質の向上に努め、保育や環境構成に生かしたり見直しをしたりしている。 | ⑦に関して、信頼関係を築く上で重要なことであり、日頃から大切に続けている部分で、よい評価を得ることができた。 ⑩に関しては、例年よい面と見直しが必要な面との両方の意見が背中合わせのようになっていく。家庭の事情に応じて変わる部分もあるため、その年度ごとに話し合いながら進め、協力し合って楽しく意義のある行事やPTA活動ができるようにしていきたい。 | ⑦に関して、幼稚園教育には、子どもを中心に据えた家庭との連携が欠かせないため、保護者が連絡や相談がしやすく、親身になって話し合いができる信頼関係を築いていきたい。 ⑩に関して、園児数が少ないため、相談しながらPTA活動の内容や実施形態などの検討をした。保護者の思いや願いに寄り添いながら丁寧に話を聞き、ニーズの把握をしていきたい。 ⑪に関して、職員数減により、園外での研修に参加しにくかったり、学んだことを園内で共有する時間も取りにくかったりした。 |
| | V 幼稚園教育への理解を深めることができるよう、保護者や地域に向けて積極的に情報を発信する。 | ⑫ 幼稚園は、毎日の登降園時や参観日、ホームページや地域の広報誌などを通して、園生活の様子や子どもの成長、保育内容などを伝えている。 ⑬ ホームページや地域広報誌を活用し、保護者に園生活や子どもの取り組みを知らせたり地域内外に幼稚園教育についての情報を積極的に発信したりすることに努めている。 | 全員が「そう思う」としている。 園生活の様子が掲載されている新聞の広報誌配布については、新聞配達を受けている家庭が減っているため、喜ばれている。また、登降園時に毎日保護者と顔を合わせるメリットを生かし、子どもの成長や発達にまつわる小さなエピソードもたくさん伝え共有してきたことが評価されたと考える。 | ケーブルテレビ・地域の広報誌・掲示板などで、活動の様子や子どもの経験・学びなどが分かりやすく伝わるよう心掛けた。保育の準備や日常の事務などが非常に多忙で、ホームページの更新はあまりできなかった。幼稚園教育の意義やよさを分かりやすく知らせていきたい。 未就園児への園開放を実施した。参加人数が非常に少ないが、実際に園生活の様子を見てもらったり、保護者と会話を交わしたりすることでできたつながりを大切にしたい。 |
| VI 危機管理の対応を明確にし、安全・健康教育を進める。 | ⑬ 幼稚園は、日々の安全管理や防災教育、衛生管理や感染症対策などを行っている。 ⑭ 危機意識をもって非常時の対応などを共通理解するとともに、避難訓練などの防災教育や健康で安全な生活を送るための指導に努めている。 | 全員が「そう思う」としている。 様々な感染症が季節を問わず流行する傾向にあり、保護者の関心や心配も大きかったと思われる。これらの項目に関する社会的関心は高く、今後も一層の取り組みが必要であると考え。 | 衛生面に関して、手洗いうがいなどの指導・励行を始め、換気や消毒などについても留意し、清潔で安全な環境づくりを心掛けた。 防災面では、小中学校と連携した避難訓練を実施し、実際に災害が起きたときに協力を得られる体制をつくっている。様々な災害や場面を想定した避難訓練も実施していきたい。 | |